

## ●第31回通常総会第2回理事会開催 8月29日 里山の会事務所にて開催

高温が連日続く中での理事会となり出席理事は6名となりぎりぎり成立する本当に厳しい理事会となりました。

2025年度前半の事業報告では里山農園からは子ども食堂へジャガイモなどの提供を実行できたこと、夜の生き物調べの参加者が後日来所されて農園の環境が素晴らしいと評価されたことが報告されました。しかし年度当初中心を担った方が退会されて飛躍できる活動が困難になったこと、そして異常な高温と降雨の少なさなど自然の厳しい変化でしたが、獣害被害は網の設置が効果が見られたとのことでした。

続いてヤマトサンショウウオでは非常な乾燥で2つの生育池も乾燥し、わずかに3月8日前後の降雨によって二対の卵嚢が産み付けられ、一対を京都水族館に譲渡して、後日成体の92匹と未成体の3匹を元に戻す事が出来、水族館との新しい関係が深まりました。次に昆虫観察では、中学生がこれまで数年確認できていなかったオオムラサキの飛翔の確認と幼虫の発見をされたことは素晴らしい成果でした。そして生駒山山上では参加者が全員が飛翔を見られ感激されたと報告されました。各種会員名簿の作成については140名で会費未納入者が50名となっていることが明確になりました。今後の対策として事務局会議に克服の進捗状況の資料で状況を共有しようとして決定されました。木津川堤防の希少種植生調査管理業務の除草作業は加茂町地域の一部(1日分の作業)のところまで到達できているとの事でした。この夏は高温の中での厳しい作業を本当にご苦労様でした。こうした振り返りを行うとともに後半のイベント日程を予定通りの実行することを決めました。特に結成30周年記念事業を2026年11月14日(土)にそして2025年度の幹部研修会を岐阜県各務原市竹林救援隊(NPO)その他(国宝犬山城・岐阜羽島市の農園)を1泊で実行しようとも決定しました。

## ●第28回里山講演会参加者募集 9月6日(土)

京田辺市中部住民センター(せせらぎ 草内)

今回講師にお願いしている小林慧人さんは学生時代に里山の会員として魚とりや里山農園・木津川での取り組みの企画にも参加していただき、学生河川レンジャーとして役割を発揮していただき、山城地域を今も訪ねて頂いてます。何よりも幼いころの自然とのふれあいの大切さを学びあえるのではないのでしょうか。多くの方々のご参加くださることをお願いいたします。南方では台風15号が発生し前日の5日には本土近畿地方を通過して、6日は台風一過となるような見通しです。お越しをお待ちしています。

第31回通常総会  
第2回理事会

## 第28回里山講演会

今回も里山の会と共に活動を進めてきた(小林慧人さん)を迎えて「子どもと生きもの」と題してサブタイトル私の体験(竹の関心へ)とお話を聞いています。小林慧人さんは大阪池田市出身、造園家のお父さんの元同市五社大学に進み木津川河川レンジャーとして仲間と学生たちと天井川など地元自治体制度や歴史を訪ねて学び、幼児たちと木津川での魚とりを取組、そこで池田小学校の恩師から学び取った川の面白さを活かした指導で職を發揮されました。大学を卒業して以後京都大学農学に進み木津川で竹類の研究に興味を深め日本国内はもちろんアジア諸国や世界各国の視察や研究に周り歳見を深められました。そして現在森林研究所の職員として日夜広く活躍をされています。今回はこうした成長の道に進んだ幼少の頃の経験の大切さを子育て中の保護者の皆さんとともに語り合う事が出来ればと多忙な中時間を取っていただきました。ぜひ多くの保護者の方々のご参加をお願いいたします。

9月6日(土)13:00~15:30

京田辺市中部住民センター せせらぎ

講師

小林慧人 森林研究所職員(32歳)

◆講師紹介:小林慧人さん(森林研究所職員・30歳)

- 大阪府池田市出身。造園家の父の影響を受け、同志社に進学。
- 木津川河川レンジャーとして地域の歴史や自然を学び、幼児と魚とり活動に参加。
- 京都大学大学院農学研究科で竹類の研究に取り組み、国内外で視察・研究を重ねる。現在は森林研究所で活躍中。

## 演題 子どもと生きもの

竹への関心が育んだ自然とのつながり

幼少期の自然体験が、どのように人生の方向性を形づくるのか。  
育て世代の皆さんとともに、自然との関わり大切さを考える時間です

中学生の活動発表 中沢斗(3年生) 吉村開(3年生) チョウや生き物について

|        |                                                                           |
|--------|---------------------------------------------------------------------------|
| 参加申し込み | メール <a href="mailto:fddb257@yahoo.co.jp">fddb257@yahoo.co.jp</a> 氏名 住所 電話 |
| 受付人数   | 50人 先着順に受け付け                                                              |
| 参加費    | 無料 先着順 参加可否はメールで通知します                                                     |
| 主催     | 特定非営利活動法人やましろ里山の会                                                         |
|        | 事務所 京田辺市田辺深田15 〒610-0331                                                  |
| 後援     | 京田辺市 京都府山城教育局(申請中)                                                        |
|        | この事業は京都府地域交響プロジェクト交付金事業です                                                 |

里山の会の出身で河川レンジャーとなっていたいただきましたのは、福井波恵さん、山田信人さん、田中秀行さん、田中美知世さん、山村秀夫さん、村上ゆいさん、中西カヨさん、南良靖男さん、そして中尾博さんとそうそうたるメンバーです。しかしここ数年京田辺市出身のレンジャーの誕生がみられなかったのですが、中西アサ子さんが自主的に淀川発見講座を受講してレンジャー養成座も完璧に終了され、8月31日のプレゼンテーションも終わられました。後は発表を待つのみのところまで奮闘されました。本当に素晴らしい頑張りだったと思います。私もレンジャーの一期生として、心からレンジャー誕生を期待しております。

**参加者募集** 初心者歓迎

**子どもカヌー体験**

毎年多くの参加者をお迎えして親子カヌー体験を実施していますが今年は2日(火)現在、4家族15人の申込が届いています。申し込み開始2日での段階です。これからだと思いますが人気があり安価でもあります。指導も充実していますので、初心者でも安心して参加できます。大いにこのチャンスを生かしてご参加ください。これまでだと季節をよく考えなければなりませんでした。温暖化の影響で随分とやりやすくなってきました。先着順で自動受付となっていますので申し込みをよろしくお願いいたします。

[illegible]

山城の特産品が販売されます。またパンやお寿司、ケーキ、そして野菜等楽しい催しが計画されました。里山の会では松かさツリー作りや竹サインペンづくり、そしてコマまわしなど楽しく面白く愉快的な工作で参加いたします。9時30分から15時で終了です。

梅や桜が枯れさせる被害が発生しています。京都府で 118 本で発見されて、京田辺市では 47 本(府下の発生本数の 4 割)の大きな被害が発生しています。一度定着してしまうと根絶は大変難しいとさ

れています。これはクビアカツヤカミキリが桜などの中で卵を産み、木を枯らしてしまうのです。いったん広がると防御出来る手段はないので伐採して根も掘り起こして焼却ということではしか対応がないそうです。活躍するのは5~8月で木くずが排出されるそうです。発見したら市役所に連絡をお願いします。

# 参加者募集 初心者歓迎

## 子どもカヌー体験

参加者の感想文ではほとんどの方はいまうく遊びが出来る。うまく教えてくれたので安心しましたと感想を述べておられます。来年も参加したいとまた来ますという子供たちが圧倒的です。わずかな期間の体験ですが、素晴らしい経験や感動を与えてくれる取り組みで、短時間の募集期間で満杯になっていきます。前の社会人さんの選定はほとんど本津川を遊し、カヌーは誰でも経験できるものに、そして軽く持ち運び出来て普及できることを願って富田孝太郎大の高山公三郎教授と改良に改良を重ねてこられました。そして本津川の笠置を遊びカヌーの発祥の地とされ、松本旅館の協力を得て東海自然歩道のそばに記念碑を2013年に建てられました。藤田さんは川面から眺める景色は平和で心が善き善きようにいすよといつも語っておられました。参加した子供たちもきっと同じ瞬間を味わってくれていると思います。用意できる最大での協力を藤田カヌーさんにお願いと組みますがいまだに会一歩の人気のイベントですので獲得ニュースをご覧になって申し込みをお願いします

### 9月15日(月)祝日 9:30~12:30

募集人数 一人乗りカヌー 23船=23人(2人5名程度) 二人乗りカヌー 3船=6人  
参加協力会 子ども(沿岸4年生以上)1,2000円 大人=3500円 当日受付で支払の事  
集合時間 観音の寺 打合せ・注意・乗船指導など教育を受けられない場合は東船町西



非常勤活動法人 やましろ星山 事務所 京都府京田辺市田辺深田 15  
電話 0774-64-4183 メール [info@2570@yahoo.co.jp](mailto:info@2570@yahoo.co.jp)





## 第3回いきものフェスタ 9月27日

①会場周辺の人・環境問題  
②地産地消推進・環境共生推進  
③里山の会・いきものフェスタ  
④里山の会・いきものフェスタ  
⑤里山の会・いきものフェスタ  
⑥里山の会・いきものフェスタ  
⑦里山の会・いきものフェスタ  
⑧里山の会・いきものフェスタ  
⑨里山の会・いきものフェスタ  
⑩里山の会・いきものフェスタ  
⑪里山の会・いきものフェスタ  
⑫里山の会・いきものフェスタ  
⑬里山の会・いきものフェスタ  
⑭里山の会・いきものフェスタ  
⑮里山の会・いきものフェスタ  
⑯里山の会・いきものフェスタ  
⑰里山の会・いきものフェスタ  
⑱里山の会・いきものフェスタ  
⑲里山の会・いきものフェスタ  
⑳里山の会・いきものフェスタ  
㉑里山の会・いきものフェスタ  
㉒里山の会・いきものフェスタ  
㉓里山の会・いきものフェスタ  
㉔里山の会・いきものフェスタ  
㉕里山の会・いきものフェスタ  
㉖里山の会・いきものフェスタ  
㉗里山の会・いきものフェスタ  
㉘里山の会・いきものフェスタ  
㉙里山の会・いきものフェスタ  
㉚里山の会・いきものフェスタ  
㉛里山の会・いきものフェスタ  
㉜里山の会・いきものフェスタ  
㉝里山の会・いきものフェスタ  
㉞里山の会・いきものフェスタ  
㉟里山の会・いきものフェスタ  
㊱里山の会・いきものフェスタ  
㊲里山の会・いきものフェスタ  
㊳里山の会・いきものフェスタ  
㊴里山の会・いきものフェスタ  
㊵里山の会・いきものフェスタ  
㊶里山の会・いきものフェスタ  
㊷里山の会・いきものフェスタ  
㊸里山の会・いきものフェスタ  
㊹里山の会・いきものフェスタ  
㊺里山の会・いきものフェスタ  
㊻里山の会・いきものフェスタ  
㊼里山の会・いきものフェスタ  
㊽里山の会・いきものフェスタ  
㊾里山の会・いきものフェスタ  
㊿里山の会・いきものフェスタ

①いきものフェスタ  
②いきものフェスタ  
③いきものフェスタ  
④いきものフェスタ  
⑤いきものフェスタ  
⑥いきものフェスタ  
⑦いきものフェスタ  
⑧いきものフェスタ  
⑨いきものフェスタ  
⑩いきものフェスタ  
⑪いきものフェスタ  
⑫いきものフェスタ  
⑬いきものフェスタ  
⑭いきものフェスタ  
⑮いきものフェスタ  
⑯いきものフェスタ  
⑰いきものフェスタ  
⑱いきものフェスタ  
⑲いきものフェスタ  
⑳いきものフェスタ  
㉑いきものフェスタ  
㉒いきものフェスタ  
㉓いきものフェスタ  
㉔いきものフェスタ  
㉕いきものフェスタ  
㉖いきものフェスタ  
㉗いきものフェスタ  
㉘いきものフェスタ  
㉙いきものフェスタ  
㉚いきものフェスタ  
㉛いきものフェスタ  
㉜いきものフェスタ  
㉝いきものフェスタ  
㉞いきものフェスタ  
㉟いきものフェスタ  
㊱いきものフェスタ  
㊲いきものフェスタ  
㊳いきものフェスタ  
㊴いきものフェスタ  
㊵いきものフェスタ  
㊶いきものフェスタ  
㊷いきものフェスタ  
㊸いきものフェスタ  
㊹いきものフェスタ  
㊺いきものフェスタ  
㊻いきものフェスタ  
㊼いきものフェスタ  
㊽いきものフェスタ  
㊾いきものフェスタ  
㊿いきものフェスタ



里山の会の参加計画は次の通りです

- ①竹蛇籠製作講習会(4組をくみ上げる)
- ②松かさツリー作り
- ③竹鉛筆づくり
- ④中学生の活動発表
- ⑤会活動紹介ポスター掲示

9:3 開園です お手伝いを募集中です



めています。出来れば皆さんのお手伝いをお願いいたします。

中学生の中沢君と吉村君が27日の15:00からこの日の締めくくりの活動発表を行います。どうぞ応援に駆けつけてください。2人にはこの夏休みも毎日ほど自転車で里山農園に出かけて観察活動を展開していただきました。発表をご期待ください。

京都いきものフェス 掲載ホームページ



<https://www.pref.kyoto.jp/biodic/news/250401ikimonofes.html>

### ●会誌「里山の自然」記念号作成にご協力をください。

先ほどの理事会で結成30周年記念事業は2026年11月14日と決定されました。これまで多くの講師にお願いして里山の会の方向付けを学ばせて頂いてきて、この日を迎えることが目前に迫っています。会誌59号と60号で会員の皆さんに登場いただきたいと考えています。ぜひこの機会に一度ご寄稿をお願い申し上げます。現在までの最高会員数は2005年19号時の268人でした



が、2025 年 59 号では 140 人となっていますのでお寄せいただいた原稿はすべて掲載が可能と計算しております。えんぴつ等手書きで送ってくださっても結構ですのでご協力のほどよろしくお願いいたします。48 号までを読み通しますと苦労した歩みが懐かしくよみがえるものです。ぜひご協力をお願いいたします。

## 自然を大切にする仲間の輪を大きくする

非営利活動法人 やましろ里山 事務所 京都府京田辺市田辺深田 15  
電話 0774-64-4183 メール [fddb257@yahoo.co.jp](mailto:fddb257@yahoo.co.jp)

# 結成 30 周年記念事業

## 会誌 59 号原稿募集

発行予定日 10 月 30 日

59 号・60 号に全会員 140 名の顔写真を掲載を目指します

里山の会の事業は 6 か月で少なくとも 30 回程度の取組の展開を進めています。そして定期開催を含むと 50 回には到達してくるのではないのでしょうか。それぞれの皆さんが得意の分野を活かして進めましょうと一昨年の総会で確認をいたしましたが、依然として旧態どおりから脱却できずにスタッフは力を振り絞って活動に力を注いでいます。その出来栄を多くの会員に届けるとして発行を継続してきました。多くの会員の方々は参加はしたいが都合があって出席が難しいという都合もあるので、できる限り内容をお伝えしていくことを目標にして発行を継続してきました。とうとう 30 年を目前にするところに到達しています。

結成 30 年を記念して会員各位が一度は寄稿をいただき、みんなで作り上げている機関誌として位置付けるために、仲間の広場への投稿をお願いいたします。具体的には顔写真をお寄せください、市町村名を添えて掲載したいと思います。ご都合が無理な場合はスタッフがお伺いをする時間を合わせて、全会員様が掲載されるように取り組みたいと思いますのでよろしくご協力をお願いいたします。事務局会で理事の播川さんと会計の事務処理を頂いている小川様のお骨折りで 2025 年度の会員名簿 140 名が確定いたしました。これを活かして初めての取組を開始しますのでよろしくお願いいたします。また出来ればお便りをお寄せくださるようお願いいたします。

## 自然を大切にする仲間の輪を大きくする

非営利活動法人 やましろ里山 事務所 京都府京田辺市田辺深田 15  
電話 0774-64-4183 メール [fddb257@yahoo.co.jp](mailto:fddb257@yahoo.co.jp)